

WO 2012/017759 A1



(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG). 添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称：玩具用包装容器

技術分野

[0001] 本発明は玩具用包装容器に関するものである。

[0002] 従来より、玩具を収容する玩具用包装容器が知られている（特許文献 1 参照）。特許文献 1 に記載の玩具用包装容器は、台紙と、台紙の表面に取り付けられた合成樹脂製のカバー部材とを有し、台紙とカバー部材との間に内容物である例えば消ゴム人形のような玩具を収容する収容空間を有する。カバー部材の表面中央には、例えば、収容する玩具に関連した顔が表現された凸面部が形成されており、凸面部を切り取ってお面として遊ぶことができる。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：実開昭 6 0 - 1 8 2 3 7 0 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] しかしながら、特許文献 1 に記載の玩具用包装容器においては、カバー部材をお面として再利用して無駄をなくすることができるものの、収容される玩具の大きさに比してカバー部材が大きくなる傾向があり無駄がある。また、台紙は紙としてのリサイクルは可能であるが、カバー部材のような再利用が成されていないためさらなる改善が望まれている。

[0005] そこで、本発明は、上記問題点に鑑みなされたものであって、カバー部材の収容空間やカバー部材を無駄なく使用することができ、興趣性の高い玩具用包装容器を提供するものである。

課題を解決するための手段

[0006] 本発明の玩具用包装容器は、台紙と、台紙上に取り付けられ、台紙との間に、組み立て玩具のパーツをランナーで連結した玩具キットを収容する収容空間を形成するカバー部材と、を有する玩具用包装容器であって、カバー部

材は、收容空間の外形が玩具キットの外形に近似するとともに、玩具として使用できる構成を有している。

発明の効果

- [0007] 本発明の玩具用包装容器によれば、台紙とカバー部材との間の收容空間に、ランナーで連結された組み立て玩具を收容するが、カバー部材における收容空間の外形が組み立て玩具のパーツをランナーで連結した玩具キットの外形に近似しているので、カバー部材の收容空間を無駄なく利用して收容することができる。また、カバー部材自体を玩具として使用できるので、遊びの幅を拡げることができる。

図面の簡単な説明

- [0008] [図1]本発明にかかる第1実施形態の玩具用包装容器の分解斜視図である。
[図2]本発明にかかる第1実施形態の玩具用包装容器の斜視図である。
[図3]（A）は本発明にかかる第1実施形態の玩具用包装容器のカバー部材の斜視図であり、（B）はお面の斜視図である。
[図4]本発明にかかる第2実施形態の玩具用包装容器の分解斜視図である。

発明を実施するための形態

- [0009] （第1実施形態）

以下、本発明に係る好適な実施の形態について、図面を参照しながら説明する。図1および図2に示すように、本発明にかかる第1実施形態の玩具用包装容器10は、台紙20と、この台紙20の表面21に取り付けられて台紙20との間に組み立て玩具40を收容する收容空間31を形成するカバー部材30を有する。

- [0010] 組み立て玩具40は、組み立てて例えば動物を作成するものであり、顔41、後頭部42、腕43、脚44等のパーツをランナー45で連結し、全体として円板状の玩具キット46が形成されている。ランナー45から各パーツを取り外して組立てることにより、模型玩具を完成させることができる。

- [0011] 台紙20は、例えば全体矩形平板状の部材であり、厚紙や、薄い樹脂等で形成することができる。台紙20の表面21には、円形の玩具キット46を

含むような円形部分 22 を有し、この円形部分 22 に玩具キット 46 を載せて收容する。なお、円形部分 22 に例えば耳 23 を追加して、組み立て玩具 40 の顔 41 に対応した顔 24 を描くことができる。

[0012] これにより、台紙 20 から顔 24 を切り取ることにより、顔 24 を玩具としてのお面として用いて遊ぶことができる。顔 24 は、ハサミやカッターを用いて台紙 20 から切り取ることができるが、顔 24 の輪郭に沿ってミシン目 25 を設けておき、切り取り易くするのが望ましい。この際、台紙 20 が弱くなって收容物である玩具キット 46 が脱落することがないように留意する。

[0013] カバー部材 30 は、台紙 20 とほぼ同じ大きさの全体矩形平板状の基部 32 を有しており、透明な樹脂により形成することができる。基部 32 の中央には、玩具キット 46 の外形（ここでは、円形）に近似する外形を有し、内部に收容空間 31 を有する凸部 33 が形成されている。従って、凸部 33 の内側の收容空間 31 に沿って、玩具キット 46 が收容される。

[0014] なお、本実施の形態では、玩具キットの外形が円形であり、カバー部材の收容空間も円形に近似する場合を説明したが、これに限られるものではない。例えば、玩具キットの外形が四角形状である場合は、カバー部材の收容空間は四角形に近似するのが好ましく、また玩具キットの外形が三角形状の場合は、カバー部材の收容空間は三角形に近似するのが好ましい。つまり、玩具キットの外形とカバー部材の收容空間の形状が近似するものであれば、特に限定されない。これにより、カバー部材の收容空間を無駄なく利用することができる。

[0015] カバー部材 30 の凸部 33 は、組み立て玩具 40 に関連したお面として使用できるように形成されている。すなわち、凸部 33 の前面 331 は、組み立て玩具 40 の顔 41 を大きくした形状に近似しており、円形の前面 331 の外側には、顔 41 に対応して耳部 332 が設けられている。従って、カバー部材 30 を台紙 20 に取り付けると、内部に收容空間 31 を形成するとともに、カバー部材 30 が台紙 20 に描かれている顔 24 と重なるようになる。

ている。なお、前面 331 に設けられる目 331a や鼻 331b や口 331c に対応する部分は、切り取り易くしておくのが望ましい。

[0016] また、凸部 33 の前面 331 を持ち上げて收容空間 31 を形成するために周壁 333 が設けられており、周壁 333 の内側に子供の顔が入るような大きさにするのが望ましい。さらに、周壁 333 の外側には平坦部 334 が設けられており、お面として使用する際に、お面を子供の顔に取り付けるためのゴム紐 34（図 3（B）参照）等を取り付けるための係止穴 335 を設けることができる。また、本実施形態において、平周壁 333 や平坦部 334 の縁部は、凸部 33 の前面 331 に対応する輪郭に沿って縁取りがなされており、カバー部材 30 から凸部 33 を切り取る際の目印として用いることができ、切り取り易くなっている。

[0017] 次に、カバー部材 30 をお面として用いた遊び方について説明する。図 3 に示すように、カバー部材 30 から凸部 33 を切り取り、目 331a や鼻 331b や口 331c を切り取って、組み立て玩具 40 の顔 41 に関連したお面 50 を作成する。凸部 33 の平坦部 334 に設けられている係止穴 335 にゴム紐 34 を通して結ぶ。これにより、ゴム紐 34 で、カバー部材 30 の凸部 33 を遊ぶ子供の顔に取り付けて遊ぶことができる。

[0018] 次に、台紙 20 を用いた遊び方について説明する。まず、前述したカバー部材 30 と同様に、お面として遊ぶ場合には、台紙 20 から顔 24 を切り取り、単独で、あるいはゴム紐を取り付けて、お面として遊ぶことができる。また、台紙 20 の表面 21 や裏面（図示省略）に、その他の玩具、例えば双六等が描かれている場合には、台紙 20 を単独で用いて遊ぶことができる。

[0019] 以上、説明した本発明の第 1 実施形態にかかる玩具用包装容器 10 によれば、台紙 20 とカバー部材 30 との間の收容空間 31 に、ランナー 45 で連結された組み立て玩具 40 を收容するが、カバー部材 30 の收容空間 31 の外形が組み立て玩具 40 の顔 41、後頭部 42、腕 43、脚 44 等のパーツをランナー 45 で連結した玩具キット 46 の外形に近似しているので、カバー部材 30 の收容空間に無駄なく收容することができる。また、カバー部材

３０自体を玩具として使用できるので、遊びの幅を拡げることができる。また、台紙２０も玩具として使用できるので、無駄を無くすることができる。

[0020] また、カバー部材３０は透明となっているので、収容している玩具キット４６が外部から視認できる。また、カバー部材３０は組み立て玩具４０に関連したものとなっており、お面５０として使用することができる。

[0021] （第２実施形態）

次に、本発明に係る第２実施形態の玩具用包装容器について説明する。なお、第１実施形態にかかる玩具用包装容器１０と共通する部位には同じ符号を付して、重複する説明を省略することとする。

[0022] 本発明の第２実施形態の玩具用包装容器１０Ｂは、カバー部材３０Ｂに組み立て玩具４０の顔４１に対応した彩色を施し、組み立て玩具４０に関連したお面として使用する。その他の構成は、前述した第１実施形態の玩具用包装容器１０と同様である。

[0023] 以上、説明した本発明の第２実施形態にかかる玩具用包装容器１０Ｂによれば、カバー部材３０Ｂに組み立て玩具４０に対応した彩色を施したので、組み立て玩具４０の内容をカバー部材３０Ｂの外観から知ることができる。また、カバー部材３０Ｂを彩色して、組み立て玩具４０に関連したお面となっているので、お面をカバー部材３０Ｂから取り出して遊ぶことができる。さらに、カバー部材３０Ｂはお面の彩色および形状をしているので、玩具用包装容器１０Ｂを多数並べて展示することにより、あたかも縁日の露店のお面屋のような雰囲気を出すことができる。

[0024] 以上、本発明の好ましい実施形態について詳述したが、本発明に係る玩具用包装容器１０、１０Ｂは上述した実施形態に限定されるものではなく、実用新案登録請求の範囲に記載された本発明の要旨の範囲内において、種々の変形、変化が可能である。例えば、前述した各実施形態では、カバー部材３０を透明にしたり、あるいはカバー部材３０Ｂに収容している組み立て玩具４０に関連した彩色を施すことにより、外部から内部の組み立て玩具４０の情報を得ることができるようにしたが、カバー部材３０Ｂに台紙２０の色と

同じ色を塗って、収容空間 31 に収容されている組み立て玩具 40 が見えな
いようにすることもできる。また、前述した各実施形態では、玩具キット 4
6 が円形の場合について例示したが、その他の形状とすることも可能である
。例えば、三角形、四角形、星形、半円形等様々な形状とすることができる
。この場合でも、カバー部材 30 の収容空間 31 は、玩具キットの外形に近
似した形状に形成する。

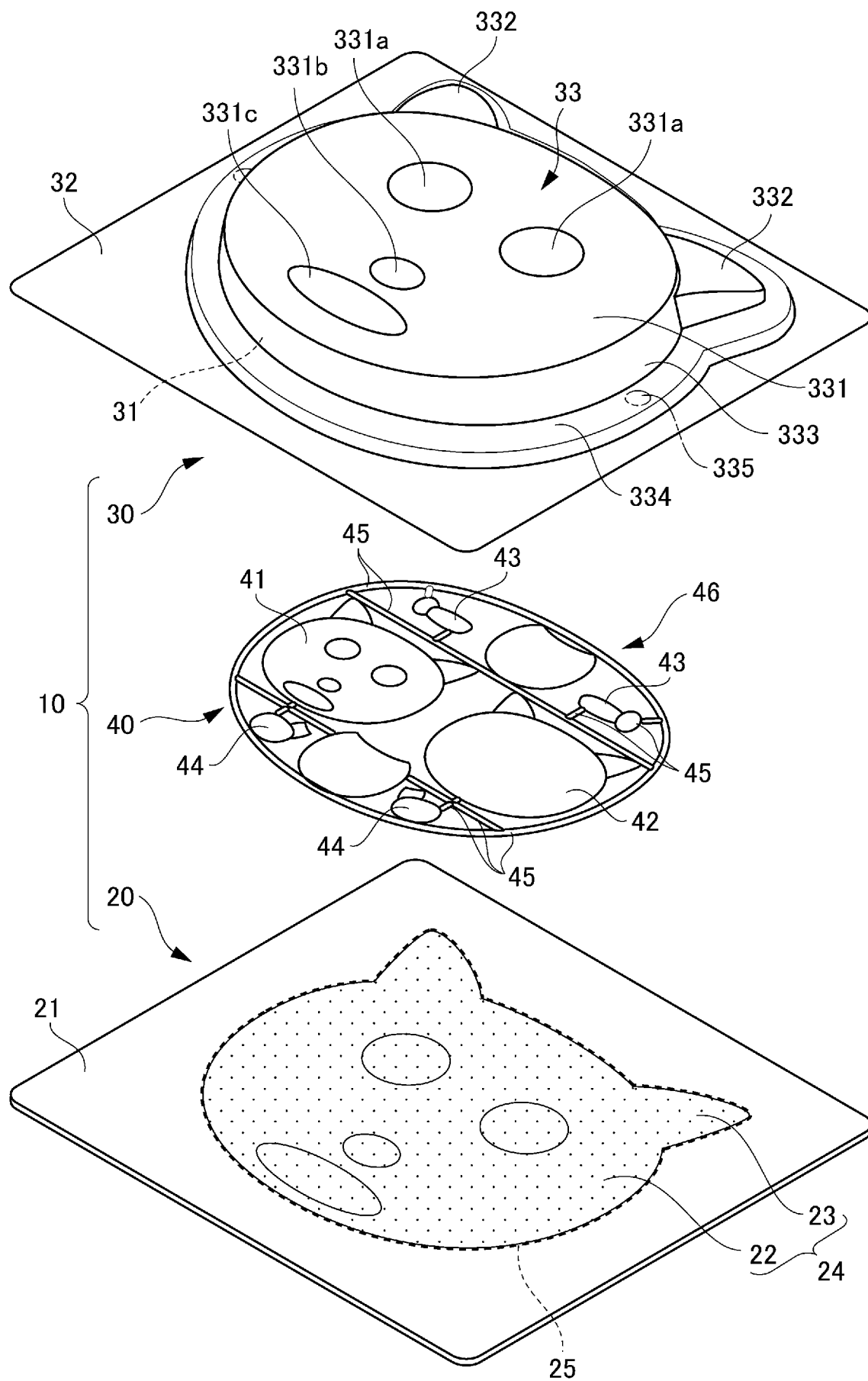
符号の説明

- [0025] 10, 10B 玩具用包装容器
 20 台紙
 21 表面
 30、30B カバー部材
 31 収容空間
 40 組み立て玩具
 41 顔（パーツ）
 45 ランナー
 46 玩具キット
 50 お面（玩具）

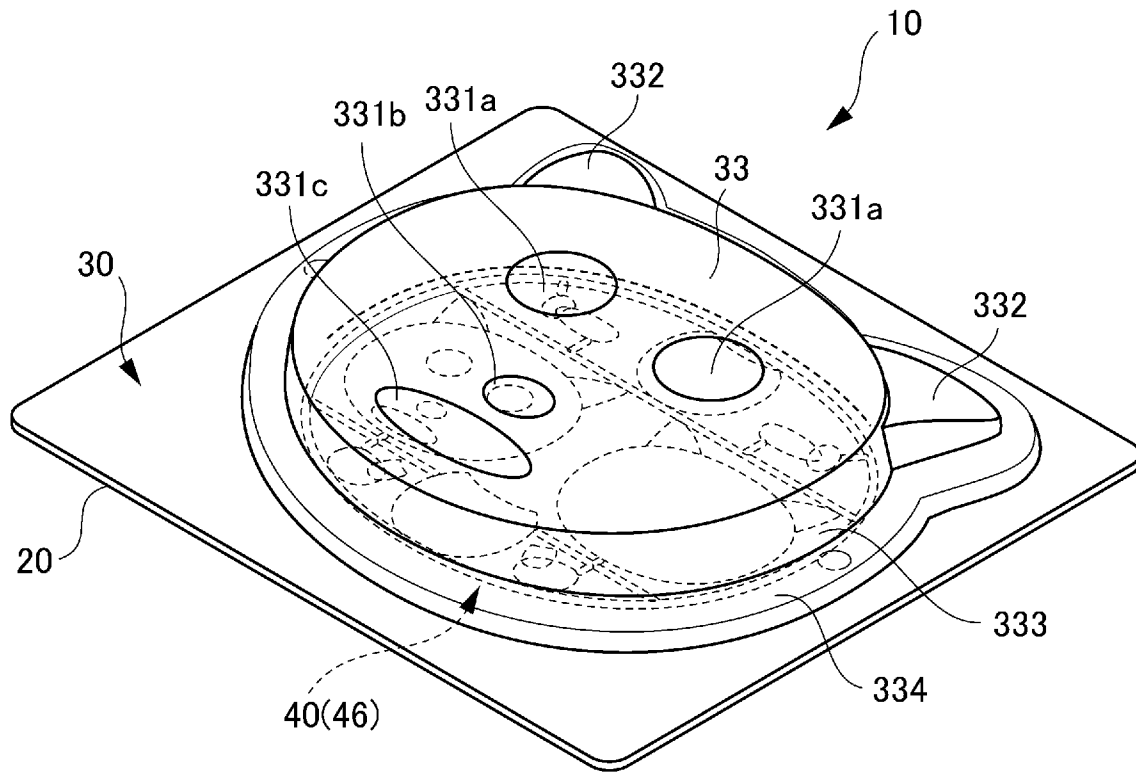
請求の範囲

- [請求項1] 台紙と、
- 前記台紙上に取り付けられ、前記台紙との間に、組み立て玩具のパーツをランナーで連結した玩具キットを収容する収容空間を形成するカバー部材と、を有する玩具用包装容器であって、
- 前記カバー部材は、前記収容空間の外形が前記玩具キットの外形に近似するとともに、玩具として使用できる玩具用包装容器。
- [請求項2] 請求項1において、前記カバー部材が透明であり、前記玩具は、前記組み立て玩具に関連したお面である玩具用包装容器。
- [請求項3] 請求項1において、
- 前記カバー部材に前記組み立て玩具に対応した彩色を施し、前記玩具は、前記組み立て玩具に関連したお面である玩具用包装容器。
- [請求項4] 請求項1乃至請求項3のいずれか一項において、
- 前記玩具キットの外形は円形、三角形状、四角形状、星型、又は半円形である玩具用包装容器。
- [請求項5] 請求項1乃至請求項4のいずれか一項において、
- 前記カバー部材の組み立て玩具に関連したお面として用いる部分の輪郭に沿って縁取りがなされている玩具用包装容器。
- [請求項6] 請求項1乃至請求項5のいずれか一項において、
- 前記台紙を玩具として使用できる玩具用包装容器。
- [請求項7] 請求項6において、
- 前記台紙に前記組み立て玩具に対応した彩色を施し、前記玩具は、前記組み立て玩具に関連したお面である玩具用包装容器。
- [請求項8] 請求項7において、
- 前記台紙のお面として用いる部分の輪郭に沿ってミシン目が設けられている玩具用包装容器。

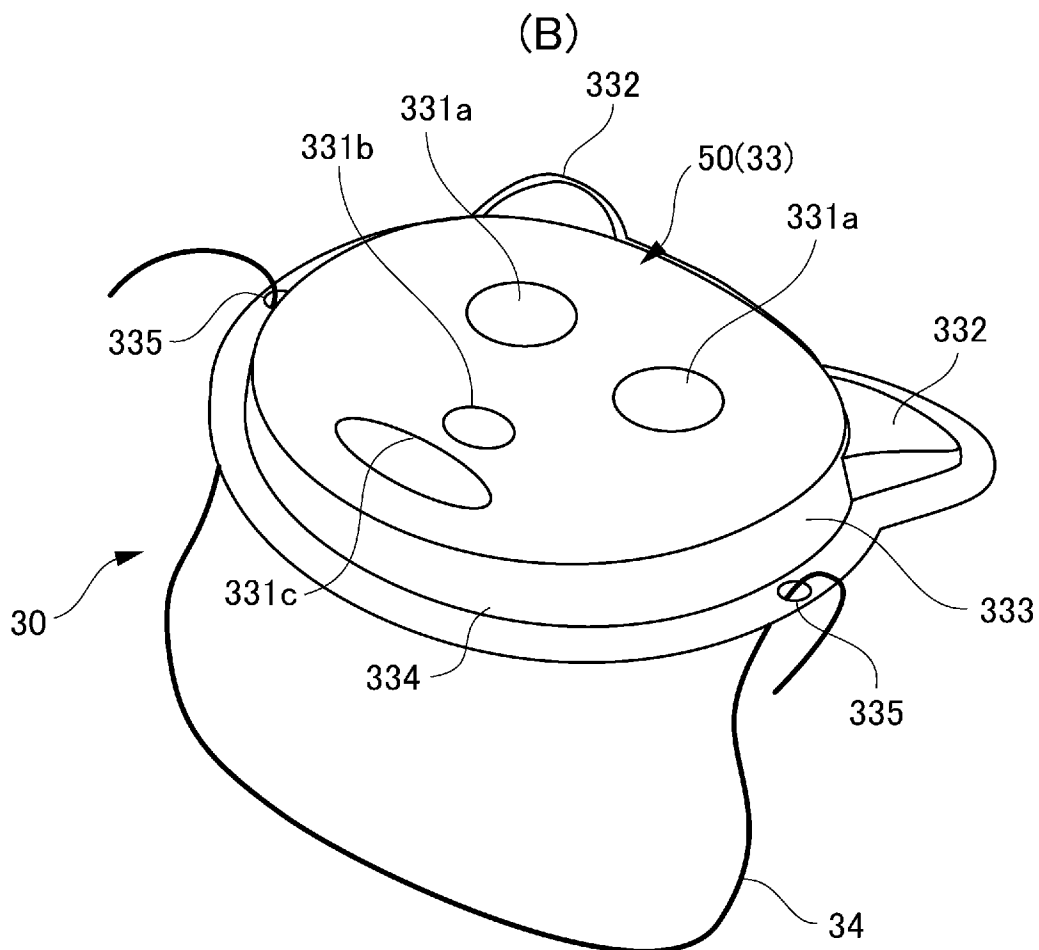
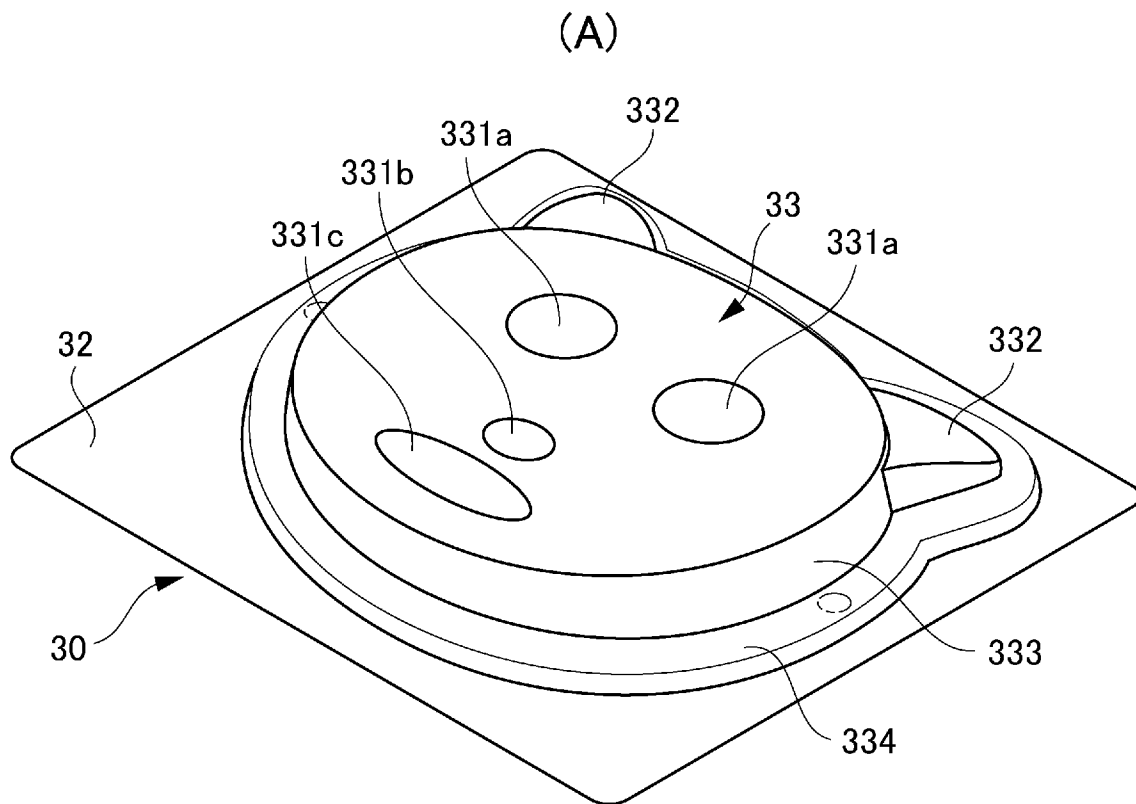
[図1]



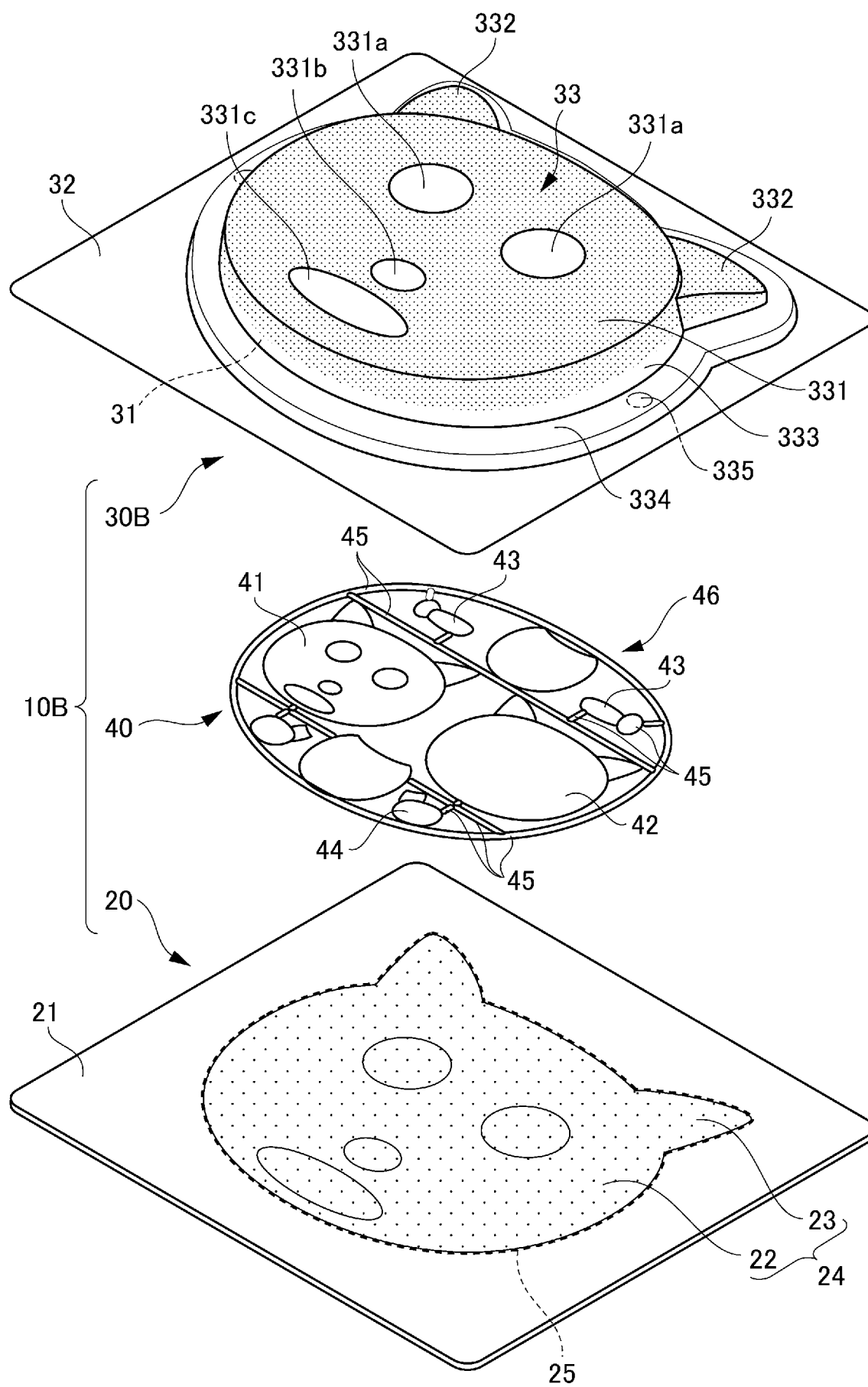
[図2]



[図3]



[図4]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/065018

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A63H33/00(2006.01)i, A63H3/00(2006.01)i, B65D75/36(2006.01)i, B65D81/36(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A63H33/00, A63H3/00, A63H9/00, B65D75/36, B65D81/36

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2011
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2011	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2011

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 023605/1979(Laid-open No. 123488/1980) (Yozo NISHIKIORI), 02 September 1980 (02.09.1980), entire text; all drawings (Family: none)	1-8
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 93197/1988(Laid-open No. 15467/1990) (Takara Co., Ltd.), 31 January 1990 (31.01.1990), entire text; all drawings (Family: none)	1-8

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
14 July, 2011 (14.07.11)

Date of mailing of the international search report
26 July, 2011 (26.07.11)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/065018

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 5-305185 A (Kabaya Foods Corp.), 19 November 1993 (19.11.1993), all drawings (Family: none)	1-8
A	JP 2002-255242 A (Kabushiki Kaisha Mantsuna Shoten), 11 September 2002 (11.09.2002), abstract; all drawings (Family: none)	1-8
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 70588/1984 (Laid-open No. 182370/1985) (Takara Co., Ltd.), 03 December 1985 (03.12.1985), entire text; all drawings (Family: none)	1-8

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. A63H33/00(2006.01)i, A63H3/00(2006.01)i, B65D75/36(2006.01)i, B65D81/36(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. A63H33/00, A63H3/00, A63H9/00
B65D75/36, B65D81/36

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 1 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 1 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 1 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	日本国実用新案登録出願 54-023605 号（日本国実用新案登録出願公開 55-123488 号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したマイクロフィルム（錦織 要蔵）1980.09.02, 全文, 全図（ファミリーなし）	1 - 8
A	日本国実用新案登録出願 63-93197 号（日本国実用新案登録出願公開 2-15467 号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したマイクロフィルム（株式会社タカラ）1990.01.31, 全文, 全図（ファミリーなし）	1 - 8
A	JP 5-305185 A（カバヤ食品株式会社）1993.11.19, 全図（ファミリーなし）	1 - 8

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

1 4 . 0 7 . 2 0 1 1

国際調査報告の発送日

2 6 . 0 7 . 2 0 1 1

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官（権限のある職員）

宇佐田 健二

2 B

4 0 9 6

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 2 3 7

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2002-255242 A (株式会社萬綱商店) 2002. 09. 11, 要約, 全図 (ファミリーなし)	1 - 8
A	日本国実用新案登録出願 59-70588 号 (日本国実用新案登録出願公開 60-182370 号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したマイクロフィルム (株式会社タカラ) 1985. 12. 03, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1 - 8